



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日
東・福

上場会社名 株式会社九州リースサービス 上場取引所
コード番号 8596 URL <https://www.k-lease.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 礪山 誠二
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員総合企画部長 (氏名) 小嶋 良一 (TEL) (092) 431-2530
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	23,718	△26.3	4,361	△8.4	4,261	△9.4	3,024	0.8
2025年3月期第3四半期	32,193	32.4	4,762	22.9	4,702	23.1	3,000	15.2

(注) 包括利益2026年3月期第3四半期 3,326百万円(5.2%) 2025年3月期第3四半期 3,161百万円(19.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	133.83	—
2025年3月期第3四半期	132.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	225,422	44,442	19.6
2025年3月期	201,932	42,630	21.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 44,287百万円 2025年3月期 42,489百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	17.00	—	36.00	53.00
2026年3月期	—	28.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	30.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2026年2月6日)公表いたしました「2026年3月期通期連結業績予想の修正(上方修正)及び期末配当予想の修正(増配)」に関するお知らせをご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	△11.0	5,850	3.5	5,750	3.0	3,850	7.9	170.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2026年2月6日)公表いたしました「2026年3月期通期連結業績予想の修正(上方修正)及び期末配当予想の修正(増配)」に関するお知らせをご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社 (社名) KLI新エネルギー合同会社 除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	25,952,374株	2025年3月期	25,952,374株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	3,343,345株	2025年3月期	3,366,800株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	22,598,661株	2025年3月期3Q	22,565,909株

(注) 自己株式数については、「役員株式給付信託 (BBT)」及び「従業員株式給付信託 (J-ESOP)」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が所有している当社株式を含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
3. 補足情報	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日～12月31日)の経営成績は、リース・割賦及びファイナンスの新規取扱高が伸長したほか、新規取得した販売用不動産の不動産賃貸収入が増加するなど、各セグメントとも基礎部分での収益が着実に積み上がったことで、売上高及び各段階利益ともに計画を上回る実績となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は2期連続での増益となりました。

売上高は237億18百万円(前年同期比26.3%減)、営業利益は43億61百万円(前年同期比8.4%減)、経常利益は42億61百万円(前年同期比9.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億24百万円(前年同期比0.8%増)となりました。

営業資産残高は、当社グループの持続的成長の観点から、収益性や効率性を重視した資産入替の取組みを継続したことで、前期末から235億4百万円増加し、2,138億49百万円(前期末比12.3%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間中においては、将来の事業領域の拡大に向けた取組みを加速させるべく、新たな営業拠点として大阪支店開設に向けた準備を進展させました。関西エリアにおける新規顧客開拓や各種情報ルート拡充を通じて、当社のコアビジネスの収益機会獲得を目指すとともに、同エリアの既存顧客との取引拡大を図ることで、営業基盤を一層充実させ、持続的な企業価値向上を目指します。

引き続き、当社グループの中期経営計画「共創2027～つながるチカラで未来を創造する～」に掲げる基本戦略及び各種施策を着実に実行し、付加価値の高い総合金融サービス・ソリューションの提供に注力することで、社会課題解決への貢献と、当社グループの持続的成長の実現に挑戦し続けてまいります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①リース・割賦

商業用設備や再生可能エネルギー関連の環境分野向けを中心として新規取扱高が堅調に推移した一方で、前年同期に計上したリース物件売却収入の影響により、売上高は166億24百万円(前年同期比11.4%減)、営業利益は15億65百万円(前年同期比6.8%増)となりました。なお、営業資産残高は1,043億21百万円(前期末比3.5%増)となりました。

②ファイナンス

収益性を重視した営業戦略を展開した結果、優良な営業資産を積み上げ、資金調達コストや与信コストを上回る利息収入を計上できたことにより、売上高は19億91百万円(前年同期比20.9%増)、営業利益は12億36百万円(前年同期比22.2%増)となりました。なお、営業資産残高は539億74百万円(前期末比30.2%増)となりました。

③不動産

不動産の取得による賃貸収入が増加した一方で、前年同期に計上した不動産販売売上の反動により、売上高は37億73百万円(前年同期比64.2%減)、営業利益は17億10百万円(前年同期比30.8%減)となりました。なお、営業資産残高は502億51百万円(前期末比17.8%増)となりました。

④フィービジネス

自動車関連の手数料収入及び保険代理店収入が堅調に推移したことにより、売上高は3億92百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は2億15百万円(前年同期比3.8%増)となりました。

⑤環境ソリューション

売電収益が堅調に推移したことに加え、環境関連分野向けのエクイティ収益により売上高は9億15百万円(前年同期比10.1%増)、営業利益は2億1百万円(前年同期比38.9%増)となりました。なお、営業資産残高は53億1百万円(前期末比1.9%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は2,254億22百万円（前期末比11.6%増）と前連結会計年度末に比べ234億89百万円の増加となりました。これは主に、営業貸付金の増加124億96百万円、販売用不動産の増加65億90百万円、割賦債権の増加29億29百万円、投資有価証券の増加19億57百万円などであります。

負債合計は1,809億80百万円（前期末比13.6%増）と前連結会計年度末に比べ216億77百万円の増加となりました。これは主に、借入金の増加164億59百万円、コマーシャル・ペーパーの増加70億円などであります。

純資産合計は444億42百万円（前期末比4.3%増）と前連結会計年度末に比べ18億12百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加15億3百万円などであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間において好調な実績を確保できていることに加えて、足元では第4四半期中の販売用不動産売却に向けた営業活動の進展などから、業績は引き続き堅調に推移することを見込んでおり、これらの進捗状況や動向等を踏まえ、2025年5月8日に公表いたしました2026年3月期の通期連結業績予想を上方修正しております。

詳細は、本日開示いたしました「2026年3月期通期連結業績予想の修正（上方修正）及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,907	4,177
受取手形及び売掛金	65	56
割賦債権	29,659	32,589
リース債権及びリース投資資産	64,399	65,201
営業貸付金	41,118	53,615
賃貸料等未収入金	320	272
販売用不動産	9,389	15,979
その他	838	499
貸倒引当金	△447	△521
流動資産合計	150,252	171,870
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産		
賃貸不動産（純額）	27,570	27,350
その他（純額）	7,572	7,338
賃貸資産合計	35,142	34,689
その他の営業資産	3,069	3,361
社用資産	552	542
有形固定資産合計	38,764	38,593
無形固定資産	506	454
投資その他の資産		
投資有価証券	10,494	12,452
その他	1,913	2,051
投資その他の資産合計	12,408	14,504
固定資産合計	51,679	53,552
資産合計	201,932	225,422

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,768	2,533
短期借入金	38,572	44,686
1年内償還予定の社債	500	500
コマーシャル・ペーパー	-	7,000
未払法人税等	1,209	331
引当金	464	391
その他	4,933	5,241
流動負債合計	49,448	60,685
固定負債		
社債	18,800	18,400
長期借入金	79,646	89,991
引当金	366	383
退職給付に係る負債	178	175
資産除去債務	470	522
その他	10,392	10,821
固定負債合計	109,854	120,294
負債合計	159,302	180,980
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,933	2,933
資本剰余金	811	811
利益剰余金	39,332	40,835
自己株式	△1,266	△1,256
株主資本合計	41,810	43,324
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	678	827
為替換算調整勘定	-	135
その他の包括利益累計額合計	678	963
非支配株主持分	140	154
純資産合計	42,630	44,442
負債純資産合計	201,932	225,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	32,193	23,718
売上原価	25,147	16,936
売上総利益	7,046	6,781
販売費及び一般管理費	2,283	2,420
営業利益	4,762	4,361
営業外収益		
受取配当金	36	41
投資有価証券売却益	-	49
為替差益	12	10
その他	22	22
営業外収益合計	71	124
営業外費用		
支払利息	63	94
持分法による投資損失	-	120
社債発行費	58	-
その他	9	9
営業外費用合計	131	225
経常利益	4,702	4,261
特別利益		
賃貸不動産売却益	-	29
特別利益合計	-	29
税金等調整前四半期純利益	4,702	4,290
法人税、住民税及び事業税	1,462	1,302
法人税等調整額	7	△52
法人税等合計	1,470	1,249
四半期純利益	3,232	3,041
非支配株主に帰属する四半期純利益	231	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,000	3,024

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	3,232	3,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70	149
持分法適用会社に対する持分相当額	-	135
その他の包括利益合計	△70	285
四半期包括利益	3,161	3,326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,930	3,309
非支配株主に係る四半期包括利益	231	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

当第3四半期連結累計期間において、KLI新エネルギー合同会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第3四半期連結累計期間において、8 JPR JV PTE. LTD. 及び株式会社ストレージ王の株式を取得したことにより、両社を新たに持分法適用の範囲に含めております。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、取締役及び監査役(社外取締役及び社外監査役を除く)に対する業績連動型株式報酬制度「役員株式給付信託(BBT)」及び一定の要件を満たした従業員に当社株式を給付するインセンティブプラン「従業員株式給付信託(J-ESOP)」を導入しております(以下、合わせて「本信託」という。)。

本信託が所有する当社株式は、四半期連結貸借対照表の純資産の部において自己株式として表示しており、当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末において572百万円、1,176,400株、当第3四半期連結会計期間末において562百万円、1,152,900株であります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	リース・ 割賦	ファイナ ンス	不動産	フィー ビジネス	環境 ソリュー ション	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	18,770	1,646	10,544	387	831	32,179	14	32,193	—	32,193
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	18,770	1,646	10,544	387	831	32,179	14	32,193	—	32,193
セグメント利益又は 損失(△)	1,465	1,011	2,471	207	144	5,300	△33	5,266	△504	4,762

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売等を含んでおります。
 2. セグメント利益調整額△504百万円は、全社費用であり報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	リース・ 割賦	ファイナ ンス	不動産	フィー ビジネス	環境 ソリュー ション	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	16,624	1,991	3,773	392	915	23,697	20	23,718	—	23,718
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	16,624	1,991	3,773	392	915	23,697	20	23,718	—	23,718
セグメント利益又は 損失(△)	1,565	1,236	1,710	215	201	4,927	△21	4,906	△544	4,361

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売等を含んでおります。
 2. セグメント利益調整額△544百万円は、全社費用であり報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	854百万円	904百万円

3. 補足情報

営業資産残高（連結）

セグメントの名称		前連結会計年度末 (2025年3月31日)		当第3四半期 連結会計期間末 (2025年12月31日)	
		期末残高 (百万円)	構成比 (%)	期末残高 (百万円)	構成比 (%)
リース・割賦	ファイナンス・リース	63,583	33.4	64,393	30.1
	オペレーティング・リース	7,572	4.0	7,338	3.5
	リース計	71,155	37.4	71,732	33.6
	割賦販売	29,659	15.6	32,589	15.2
	リース・割賦計	100,815	53.0	104,321	48.8
ファイナンス		41,458	21.8	53,974	25.2
不動産	オペレーティング・リース	27,617	14.5	27,433	12.8
	その他	15,051	7.9	22,818	10.7
	不動産計	42,668	22.4	50,251	23.5
環境ソリューション		5,403	2.8	5,301	2.5
合計		190,345	100.0	213,849	100.0